

通勤途中の道路が、台風の影響による落ち葉と倒木で覆われていました。何とか通行できる状態ではありませんでしたが、高齢者が多い集落の道路であったため、とても心配になり、家族や友人と掃除作業をすることにしました。

以前は、地域住民全員で清掃や草刈りを行っていたのですが、高齢化と過疎化により困難になったため、現在は、地域の有志が集まり、ボランティアで活動します。最近の活動に集落の高齢者が参加することはなかったのですが、台風後の清掃には、地域の高齢者がなんと全員出てきてくれました。連絡をした訳でもないのにどうしたのかと訊ねると、「いつもしてもらっちよるから、何かできんやろうかと思って」と答えました。

これまでは、高齢だからしなくてもいいという雰囲気を感じていたのか、私達がボランティア活動をしていても参加することはありませんでした。しかし、私達が活動する姿を見て、自分達でもできることがあるのではないかという意識に変わり、今回参加してくれたのではないかと思います。現在も、月に1〜2回程度清掃や草刈りを行っています。多くの住民が参加してくれるようになり、地域内のコミュニケーションも増えました。これから、ボランティア活動を通して地域を愛する気持ちを次の世代へも伝えていきたいです。